

《きっずぽけっとミニ通信 No. 141 2017年4月発行》

春ですね。

満開の桜を背景に、微笑むお母さんの横で口を一文字に結んだままの幼児。

“チーズ、と、周りから声を掛けられても、表情を変えることなく写真に収まったピッカピカの新入園児を見かけました。



不安と期待ではち切れそうな新しい生活、大揺れであろう小さな心を優しく見守ってあげたいですね。

・・そうは言っても、それなのに・・「何でこうなの！うちの子って！」が、またまた湧き上がってくることはありませんか。

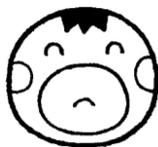
子育てとは、日々その繰り返しのような気がします。

『子どもはみんな問題児』の著者、中川李枝子氏はこの本の冒頭でこんな事を言っています。

「子どもへの最高の褒め言葉は、“よい子、でも“賢い子、でも“聞き分けのいい子、でもない“子どもらしい子ども”。子どもらしい子どもは全身エネルギーの塊で、自分自身まる出しで、いつだって自分がこの世で一番だと自信を持って毎日を生きている！」と。

うんうん、とニンマリうなずいてしまいますね。

さらにこんなことも。



「焦らないで だいじょうぶ

悩まないで だいじょうぶ

子どもをよく見ていればだいじょうぶ

子どもは子どもらしいのがいちばんなんだから！」

☆今年度はワーカーHが担当させていただきます。宜しくお願い致します